

# ～土砂災害啓発センター活動だより～ 「キャンプ砂防※2016 in 近畿(紀伊山地砂防)」開催

砂防学や森林水文学を学ぶ大学生3名が、「キャンプ砂防2016 in 近畿(紀伊山地砂防)」の活動の一環として土砂災害啓発センターを訪れ、研究活動や啓発活動の取り組みについて学びました。

## 1. 研究・啓発活動の取り組みについて学ぶ

動画で平成23年紀伊半島大水害の那智川流域の災害の概要を見た後、県職員から土砂災害に対する啓発活動の取り組み内容について説明を受けました。

その後、国土交通省職員から深層崩壊など土砂災害に対する研究活動の取り組みについて説明を受けました。学生からは積極的な質問もあり、土砂災害対策などに対する興味の高さが窺えました。

## 2. 土石流やえん堤の役割を模型水路で体験

小型模型水路による土石流の実演を通して、土石流のメカニズムや砂防えん堤がある場合とない場合の被害の違いなど、講義で学んでいる内容を実際に体験しました。学生からは「実際に土砂の流れや砂防えん堤の効果を体験することが出来て、非常に勉強になった」との感想を頂きました。



土砂災害啓発センター職員による土砂災害対策や啓発活動状況についての説明



大規模土砂災害対策技術センター職員による研究活動内容についての説明



小型模型水路を用いて土石流の再現や砂防えん堤の捕捉効果を実演

### ※「キャンプ砂防」とは (NPO法人土砂災害防止広報センター ホームページより引用)

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然条件下にあります。さらに、近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方このような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されています。

土砂災害啓発センターでは、団体での土砂災害に関する研修を受け入れています。研修をご希望の方は、希望日の一か月前までに、電話もしくはメールにて事前にご連絡ください。なお、研修室の使用状況等によりご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

#### 【問い合わせ先】

和歌山県土砂災害啓発センター

〒649-5302

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6

TEL: 0735-29-7531

メール: [e0806041@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0806041@pref.wakayama.lg.jp)